



# もいおかYMCA ニュース



## 災害救援とYMCA



ゲームをとおして子供たちのメンタルケアに取り組む トルコ地震YMCA第2次救援チーム

1995年1月の阪神・淡路大震災以来、今日まで世界各地で起きた同じような規模の大地震の数はすでに18になるそうです。地球全体が異常を来しているのかも知れませんが、おそらく情報化社会を迎えて世界各地の出来事が直ちに詳細にわたって伝えられるようになったため、私たちは地震が急増したように感じられるのではないのでしょうか。

自然災害だけでなく、人為的なもの、すなわち各地で起こる紛争についてもリアルタイムで報道され、被災者救援の活動が世界中で起こされます。世界YMCA同盟でも、そのための「救援支援担当者」をおくことが検討されているとのこと。日本YMCAにもより早く、より効果的のYMCAらしい仕方での救援活動が求められていることは言うまでもありません。

1昨年のコロンビア、昨年の台湾の場合のように直接のカウンターパートになるYMCAがある場合には、まずこの国や地域のYMCAが計画を立て、活動を始めますので海外からの救援は要請に応じての側面的支援が中心になります。もちろん、直ちに行われるお見舞いの、一時的支援は、これは早ければ早いほど喜ばれるし、被災地の状況をえることができますので極めて重要です。これらのことは、今までの数多くの経験からYMCA間では暗黙の了解ができています。

問題は、その国や地方にカウンターパートとなるべきYMCAが存在しない場合です。トルコやコソボがそのような例でしょう。日本YMCA同盟では、加盟している世界教会協議会(wcc)と協働しましたが、トルコはイスラム教国でキリスト教会の数も少ないために、多くの苦勞がありました。それでもわずかな手がかりを求めつつも行った、神戸YMCAを中心とした日本のYMCAの救援活動は現地でも高く評価されています。

いずれの場合も、初期の活動はともかく、長期的救援はより効果的になるようにと各国同盟、世界同盟が窓口になって一本化され、現地と相談しながら組織的、計画的に行われることが望ましいのは言うまでもありません。頻発する災害、そして、海外被災者救援については、より効果的なあり方を求めて、その基本となる「ガイドライン」「基本原則」の策定がいそがれます。その場合、世界同盟が1981年に策定したIMC(運動間協力)の基本原則が前提になることとなります。今年、同盟では「海外緊急救援のためのガイドライン」策定の作業が進められることになっています。

日本YMCA同盟 総主事 井口 延

### 岩手山火山災害避難所生活体験の集い

期日：10月28日(土)～29日(日)

会場：滝沢村総合公園体育館 参加費：無料

対象：盛岡市、滝沢村、栗石町など岩手山周辺市町村の住民の方  
小・中学生は、保護者同伴が参加条件となります。

主催：岩手県社会福祉協議会 協力機関：盛岡YMCA他

お問い合わせ：岩手県社会福祉協議会 019-637-9711

O. Jo

## ワンポイントバイブル講座

### 「子育て」

いま、多くの人たちの関心の中に子供の「しつけ」があるのではないのでしょうか。私も3人の子供たちを育てあげ、また10代の女の子達の里親をしました。子供たちも、姪も甥たちも皆アメリカに住んでいます。今日は、姪夫婦が行っている「子育て」の土台となっているひとつの本の中から考えてみたいと思います。もちろん、この本が絶対というわけではありません。ケース、バイ、ケースということをお憶えてください。

ある哲学者の本に「確実な子供の訓練」という本があり、多くの人たちに読まれました。もちろん英語の題名は違いますが、私が日本語に訳するとこうなります。

皆さんは子供たちに「罰」をあたえたりしたことがあるのでしょうか。子供たちは、多くの場合なんで「罰」を受けるかわからずに「罰」を受けています。「確実な子供の訓練」の中には「罰」は、効果がないと書かれてあります。私も小学時代、中学時代は日本で教育を受けましたので日本の学校のシステムは知っています。また、いまでも小学校で少し教えたりして知っていますが日本では「ひとつの型」に入れようとする傾向が強いように思えます。子供たちに「罰」を説明しても子供たちはそれを正しいと感じない場合があるのではないのでしょうか？たとえ「罰」を与えてこどもの行いがたとえよくなったとしても、その目的が親の怒りをしずめるためのものであったり、その場をおさめるためのものであったりしたならばどうでしょう？

多くの親は何が正しくて、なにがまちがいのか善悪の基準がはっきりしていません。

子どもたちには「こころの戦い」の訓練が必要なのです。両親はその中の力をもぎ取ってはいけないのです。(つづ

く)  
「父たちよ、あたたがたは子供をおこらせてはいけません。かえって主の教育と訓練によって育てなさい。」

エペソ6. 4

(盛岡キリストの教会 牧師、ファミリーカウンセラー 小田島 勝也氏)

